

授業科目名	歌曲基礎演習Ⅱ	担当形態	演習		
		開講学期	秋学期		
担当教員	長野 真理子	単位	1	年次	2

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

日常、なにげなく話している日本語だけに、いざ日本歌曲を歌うとなると、その発語に対して無頓着であったり、実は詩の本意をよく理解しないままだったりということが、その言語が身近であるがゆえに起こりがちです。この授業では基礎演習ということで比較的好く歌われる曲を用いて、発音・発語及び解釈から始め、理解を深め親しんでいくことを目標とする。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

常に健康であることを心がけ、時間を厳守し、詩を朗読するなどの予習をすること。また講義の中で少しでも興味を持つことがあったら、図書館を活用して更に深く研究を進めるなど、積極的な姿勢で臨むように。なお原則として資料の予備は保管しません。出席者同士でコピーをすること。

### ＝授業の概要＝

この授業では基礎演習ということで比較的好く歌われる曲を用いて、発音・発語及び解釈から始め、理解を深め親しんでいくことを目標とする。

### ＝授業計画＝

- |   |     |                   |                |
|---|-----|-------------------|----------------|
| ① | 1回  | ガイダンス             |                |
|   | 2回  |                   |                |
|   | 3回  |                   |                |
|   | 4回  | フランス歌曲            |                |
|   | 5回  |                   |                |
|   | 6回  |                   |                |
|   | 7回  |                   |                |
|   | 8回  |                   |                |
| ② | 9回  | 「浜べの歌」(林古溪・成田為三)  | 研究解釈、詩の朗読、歌唱。  |
|   | 10回 | 「行々子」(清水重道、信時潔)   | 研究解釈、詩の朗読、歌唱。  |
|   | 11回 | 「赤とんぼ」(三木露風、山田耕筰) | 研究解釈、詩の朗読、歌唱。  |
|   | 12回 | 「ゆりかご」(平井康三郎)     | 研究解釈、詩の朗読、歌唱。  |
|   | 13回 | 「荒城の月」(土井晩翠、瀧廉太郎) | 研究解釈、詩の朗読①     |
|   | 14回 | 「荒城の月」(土井晩翠、瀧廉太郎) | 研究解釈、詩の朗読②、歌唱。 |
|   | 15回 | 試演会               |                |

## **=テキスト（必携）=**

書籍名：解説付日本歌曲選集 3

著者名：大賀寛監修 昭和音大歌曲研究所

出版社：全音楽譜

## **=参考書・参考資料（必携）=**

## **=成績評価の方法と評価の基準=**

各グループの最終週に、それまで学んだ曲の中から試演会形式で演奏したものに、フランス歌曲の評価と合わせて成績評価する。評価の基準は平常の出席状況、研究姿勢、及びその理解の度合、成長の度合による。

## **=その他=**